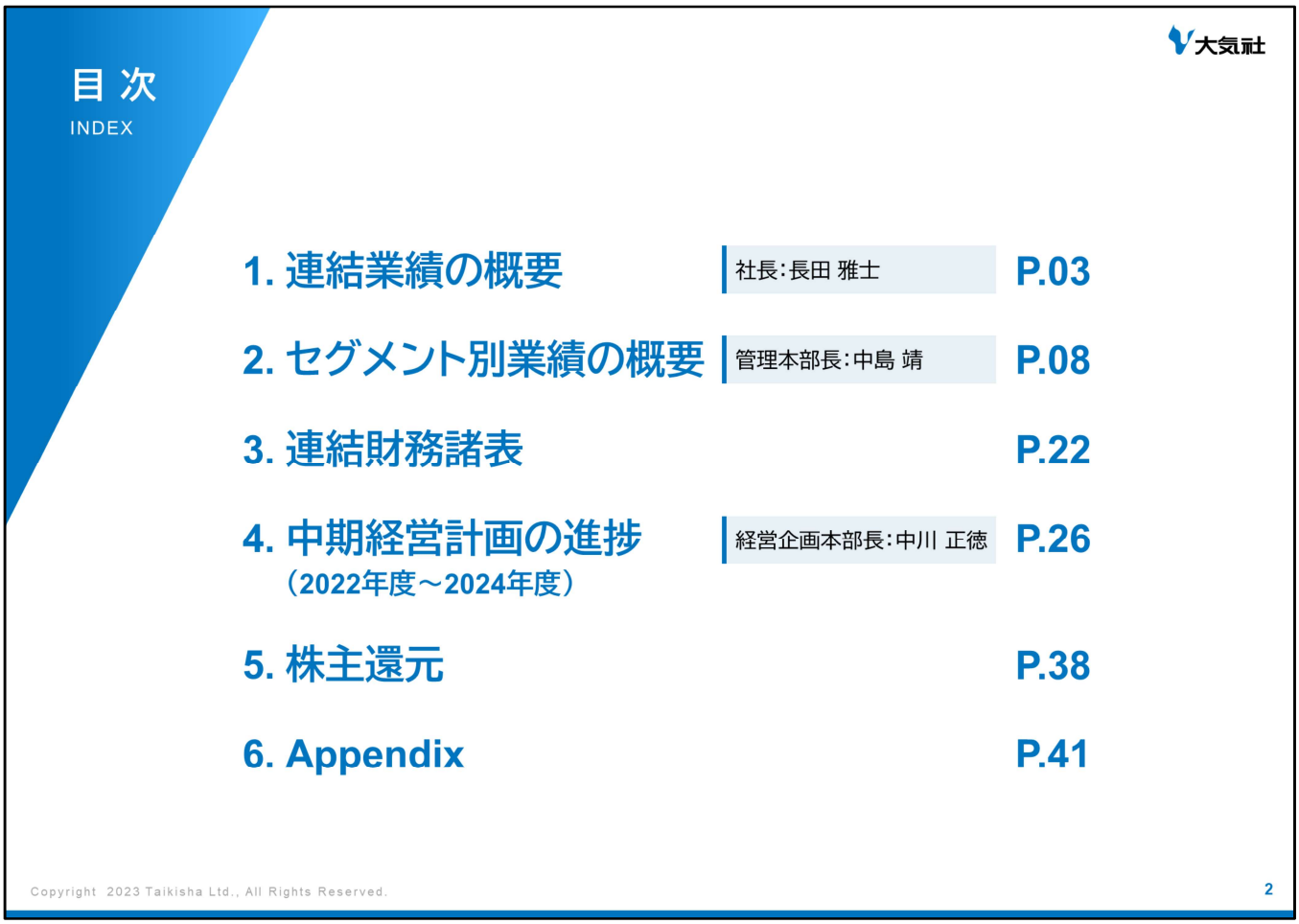
株式会社大気社

決算説明会資料

2024年3月期 第2四半期(2023年度)

2023年11月16日

大気社



社長の長田でございます。

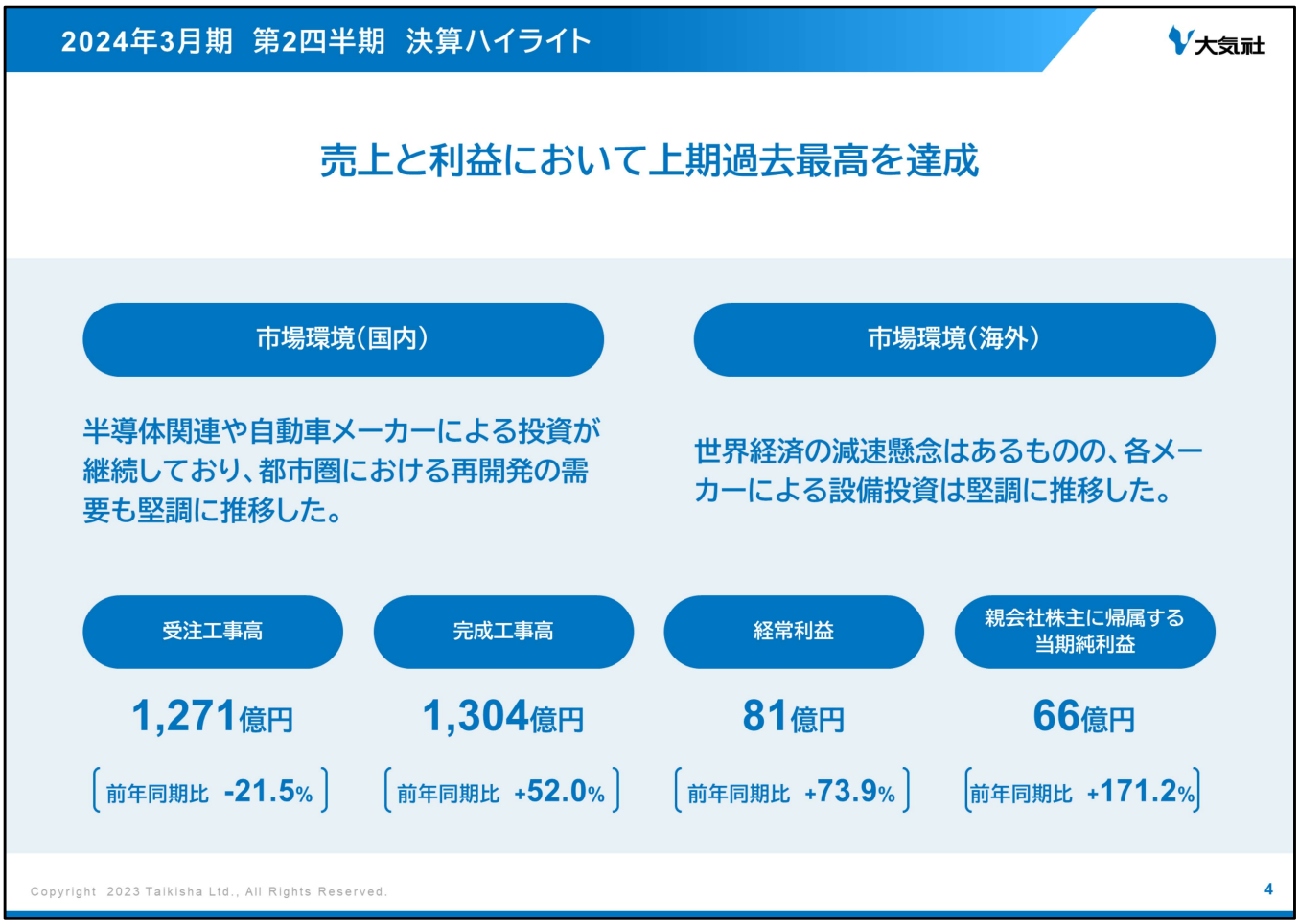
本日は、弊社の決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

私からは、上期の市場環境と業績、そして2024年3月期業績の見通しについてご説明します。

目 次
INDEX

1. 連結業績の概要	社長:長田 雅士	P.03
2. セグメント別業績の概要		P.08
3. 連結財務諸表		P.22
4. 中期経営計画の進捗 （2022年度～2024年度）		P.26
5. 株主還元		P.38
6. Appendix		P.41

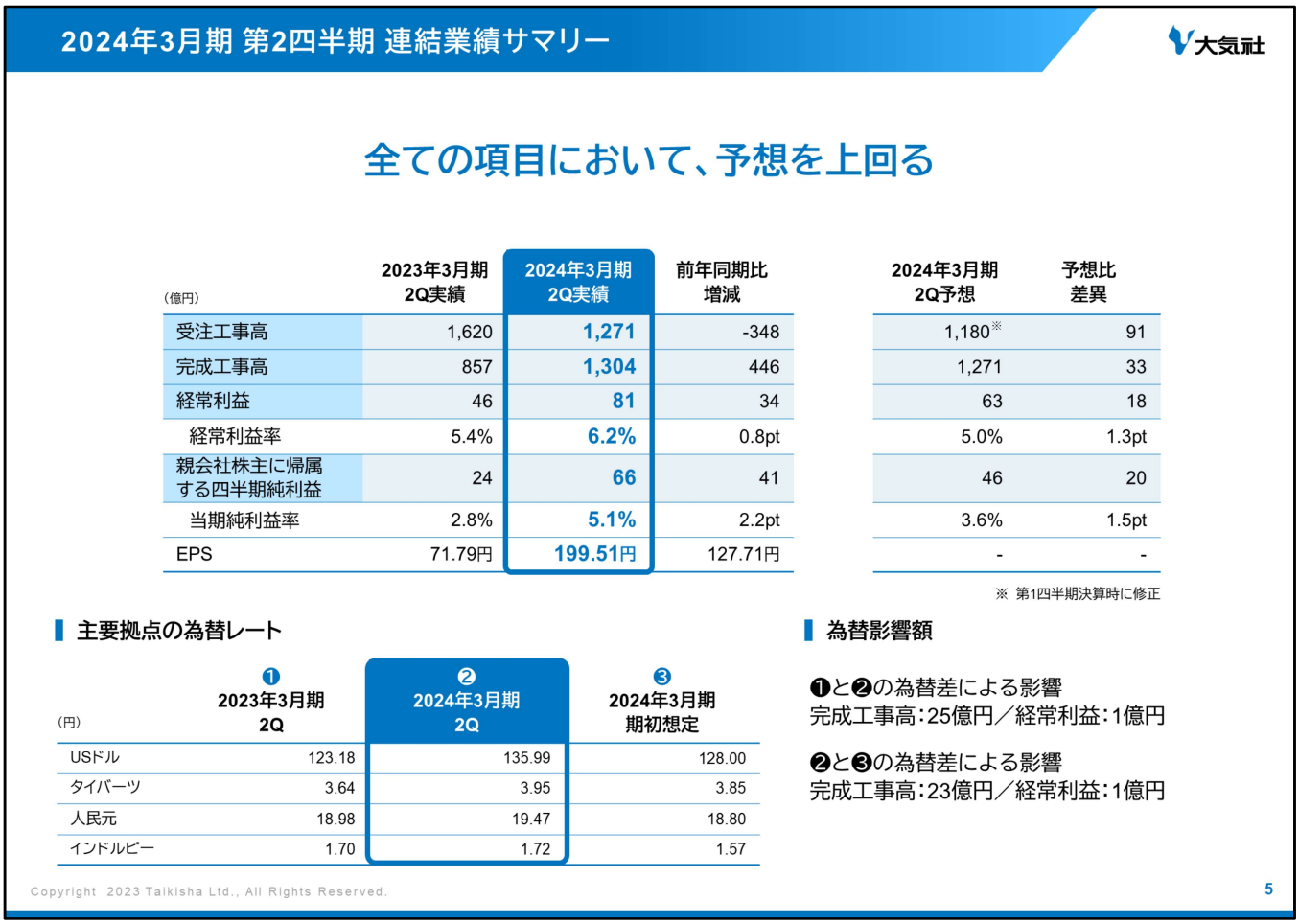
Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.



まず、当社グループにおける市場環境につきましては、国内市場では半導体関連や自動車メーカーによる投資が継続しており、都市圏における再開発の需要も堅調に推移しました。

海外市場では、世界経済の減速懸念はあるものの、各メーカーによる設備投資は堅調に推移しました。

そのような市場環境のもと、受注工事高は前年同期に大型案件の受注があったことから、反動減となりましたが、業績面につきましては、前期からの繰越工事の順調な進捗により、完成工事高と利益において上期過去最高を達成しました。



このような状況のもと、受注工事高は、第1四半期決算時に修正した予想を上回りました。

また、完成工事高および利益につきましては、10月27日に開示した「業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、全ての項目で上期の期初予想を上回りました。

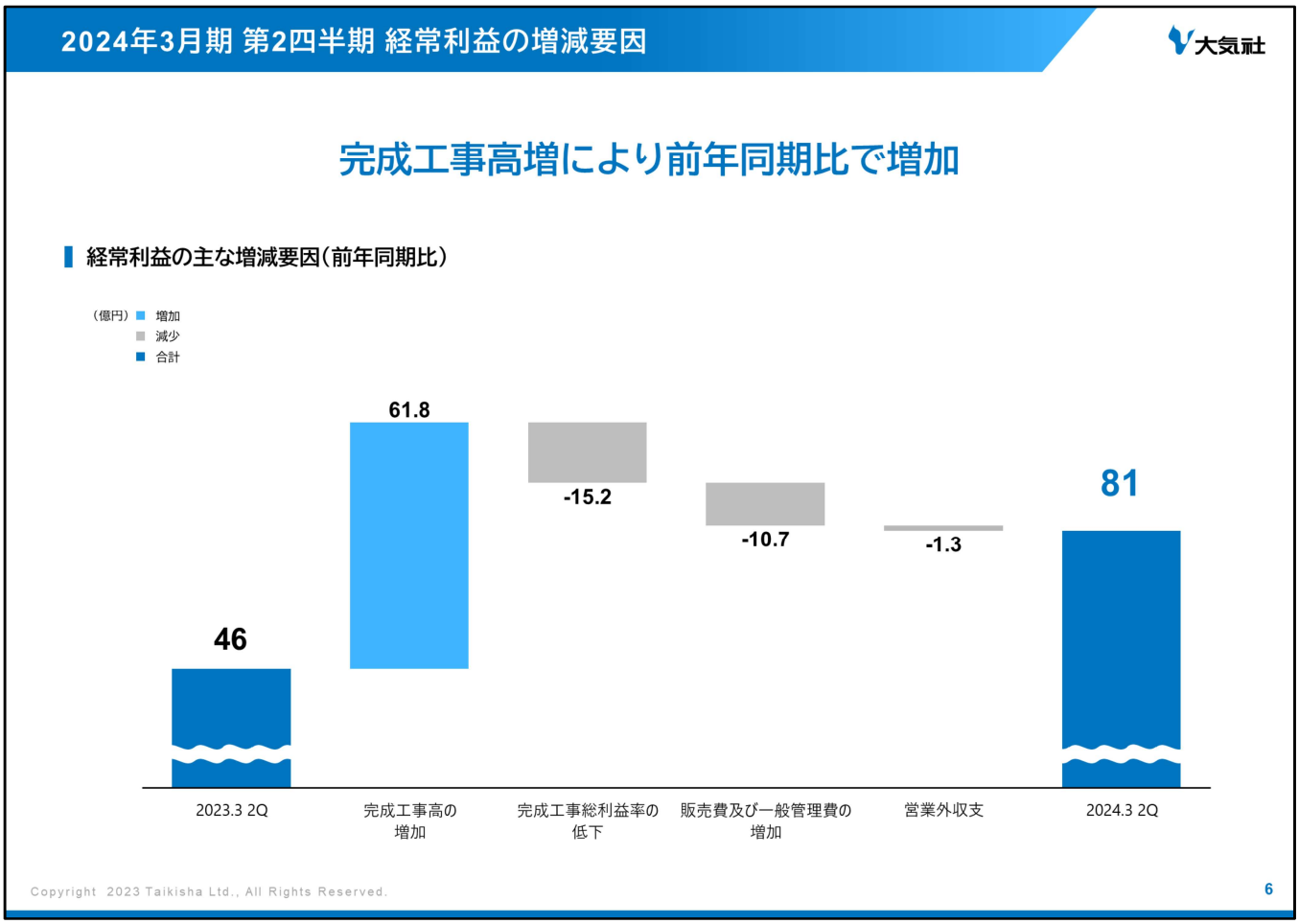
項目別にご説明いたしますと、受注工事高は、想定以上の受注を確保できたことから予想を上回りました。

完成工事高は、国内において前期からの繰越工事の進捗が期初の想定を上回ったことにより予想を上回りました。

利益面につきましては、完成工事高増に加え、海外工事の採算性が改善したため、経常利益は予想を上回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、先に述べました要因に加え、投資有価証券売却益等の増加により予想を上回りました。

セグメントごとの要因につきましては、後ほど、管理本部長の中島よりご説明します。

また、当社の主要拠点の為替レートと、為替影響額についても記載しておりますので、ご参照ください。



当頁では、2024年3月期上期の経常利益の増減要因をお示ししております。

戦略受注案件による利益率低下の影響があったものの、完成工事高増により、前年同期比で増加しております。



管理本部長の中島です。

当頁からは、セグメント別業績の概要についてご説明します。

2024年3月期 第2四半期 事業別 受注工事高

大気社

環境システム事業は減少、塗装システム事業は増加

(億円)	2023年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	前年同期比 増減	2024年3月期 2Q予想※	予想比 差異
受注工事高合計	1,620	**1,271**	-348	1,180	91
うち国内	1,050	**702**	-348	630	72
うち海外	569	**569**	-0	550	19
環境システム事業	1,266	**733**	-532	730	3
ビル空調	195	**177**	-18	135	42
産業空調	1,070	**556**	-513	595	-38
塗装システム事業	354	**537**	183	450	87

※ 第1四半期決算時に修正

Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

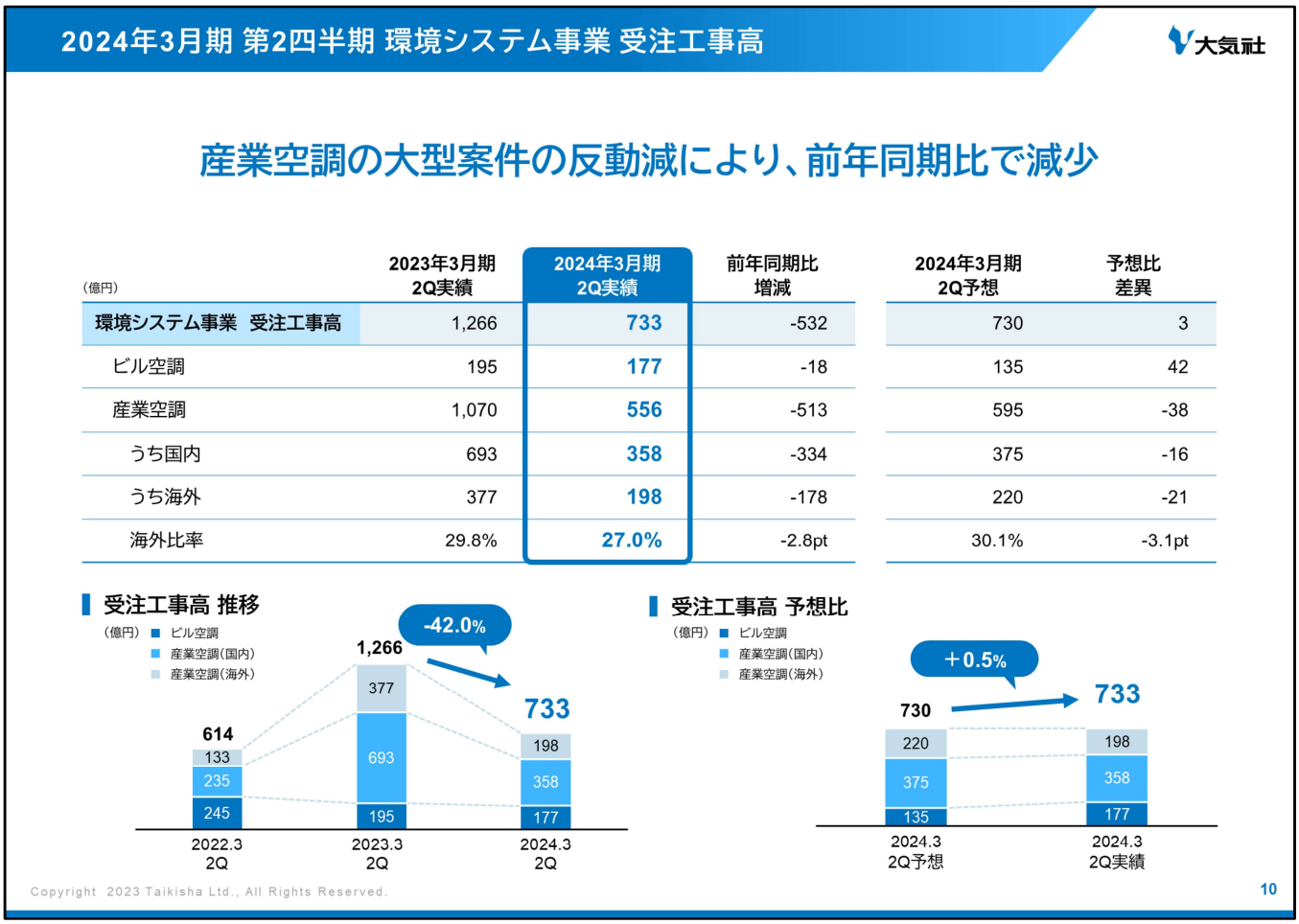
ここからは、2024年3月期第2四半期の事業別の業績についてご説明します。

当頁は、事業別の受注工事高を前年同期比および予想比でまとめています。

全社では、塗装システム事業で増加したものの、環境システム事業は減少し、前年同期比348億円の減少で1,271億円となりました。

予想比においては、環境システム事業と塗装システム事業の両事業において、第1四半期決算時に修正した予想を上回りました。

次頁から、事業ごとに順番にご説明します。



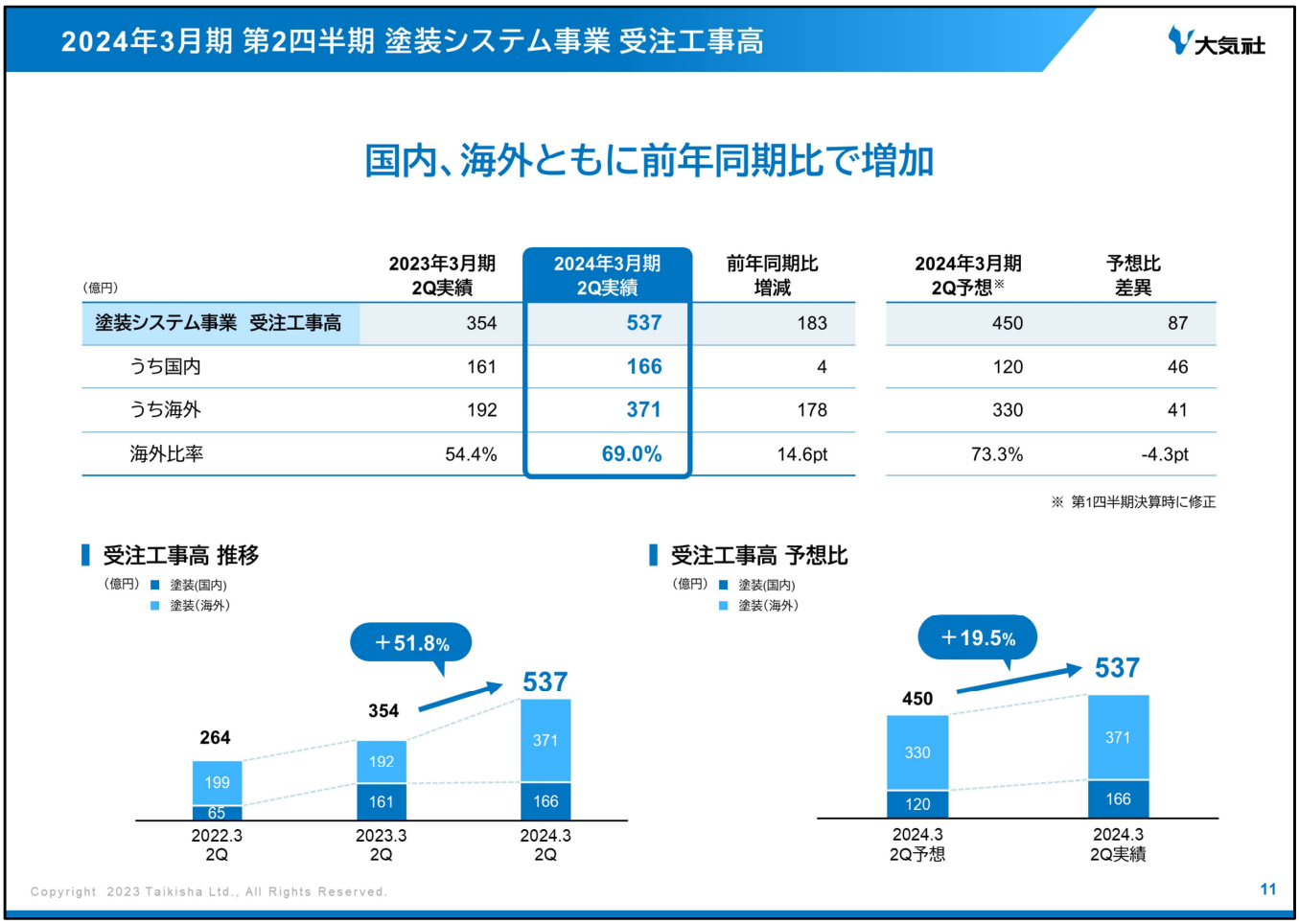
当頁は、環境システム事業の受注工事高を前年同期比および予想比でまとめています。

前年同期比においては、532億円減の733億円となりました。

ビル空調分野は、施工キャパシティを考慮した受注活動の影響により、減少しました。

産業空調分野の国内および海外は、大型案件の反動減により、減少しました。

予想比においては、産業空調分野の下振れをビル空調分野でカバーし、期初想定通りとなりました。



当頁は、塗装システム事業の受注工事高を前年同期比および予想比でまとめています。

前年同期比においては、183億円増の537億円となりました。

海外において、自動車メーカーによる大型案件が寄与し、増加しました。

予想比においては、自動車メーカーの更新需要などを着実に取り込み、第1四半期決算時に修正した予想を上回りました。

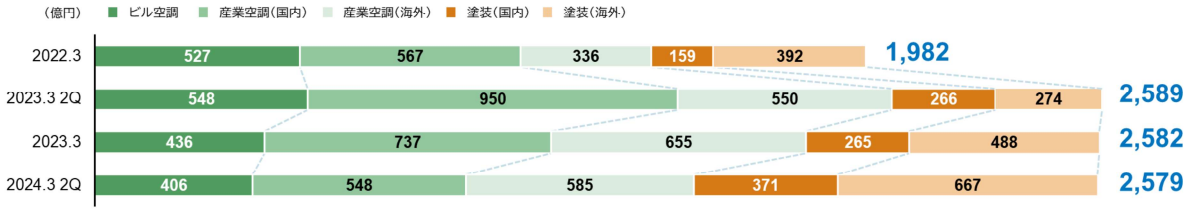
2024年3月期 第2四半期 事業別 繰越工事高

大気社

塗装システム事業の増加により、繰越工事量を維持

（億円）	2022年3月期通期 A	2023年3月期2Q B	2023年3月期通期 C	2024年3月期2Q D	増減 C－A	増減 D－B
受注工事高	2,321	1,620	2,886	1,271	565	-348
完成工事高	2,092	857	2,147	1,304	55	446
繰越工事高	**1,982**	**2,589**	**2,582**	**2,579**	**600**	**-10**
環境システム事業	1,431	2,048	1,828	1,540	397	-507
ビル空調	527	548	436	406	-91	-141
産業空調	903	1,500	1,392	1,134	488	-366
塗装システム事業	551	541	754	1,038	202	497

事業別繰工事高の内訳



Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

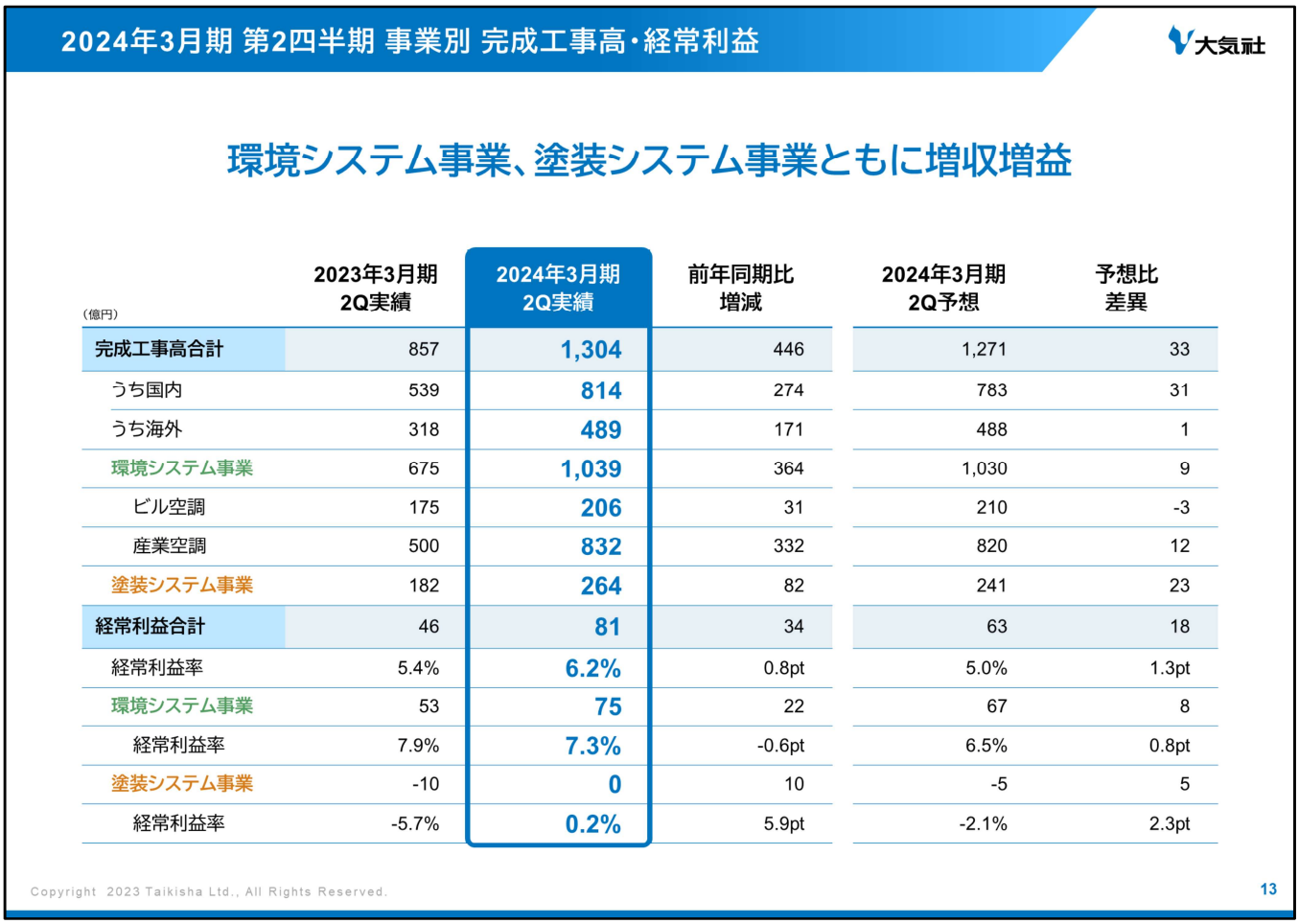
12

当頁は、事業別の繰越工事高の推移をまとめています。

2023年3月期は、環境システム事業と塗装システム事業の両事業において、大幅に増加し、2,582億円となりました。

2024年3月期上期は、環境システム事業で減少したものの、塗装システム事業において、前期末よりさらに増加し、2,579億円となりました。

全社では繰越工事量を同水準に維持しております。



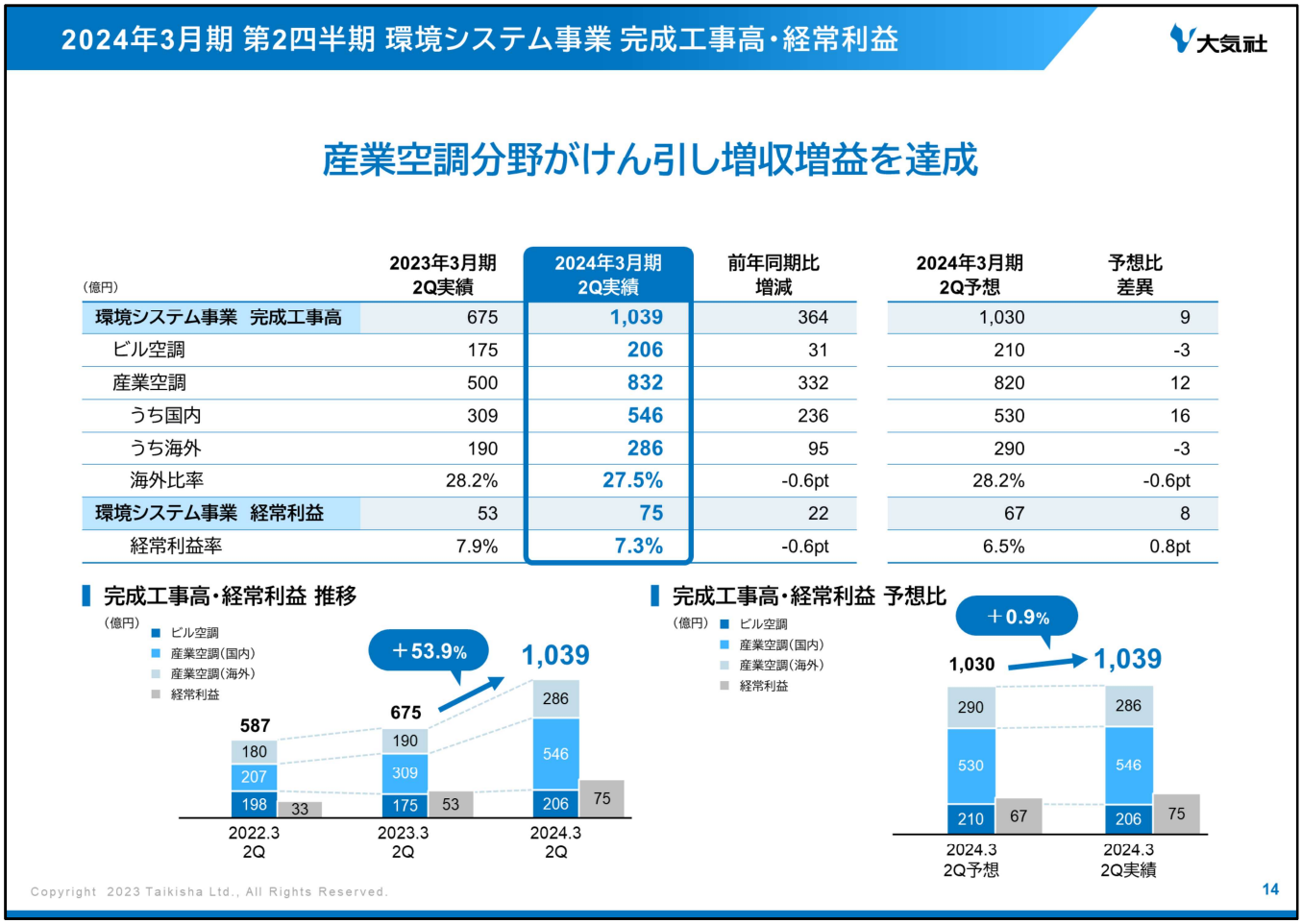
当頁は、事業別の完成工事高と経常利益を前年同期比および予想比でまとめています。

完成工事高において、環境システム事業、塗装システム事業ともに増加し、全社では前年同期比446億円増で1,304億円となりました。

予想比においては、環境システム事業、塗装システム事業ともに事業部全体としては、期初予想を上回りました。

経常利益においても、環境システム事業、塗装システム事業ともに増加し、全社では前年同期比34億円の増加、予想比では18億円の上振れで81億円となりました。

次頁から、事業ごとに順番にご説明します。



当頁は、環境システム事業の完成工事高と経常利益を前年同期比および予想比でまとめています。

まず、完成工事高は、前年同期比364億円増の1,039億円となりました。主に産業空調分野の大型案件の出来高が寄与し、増加しました。

次に経常利益は、完成工事高の増加により、前年同期比22億円増の75億円となりました。

予想比においても、主に海外において原価低減活動による利益改善が進み、予想を上回りました。

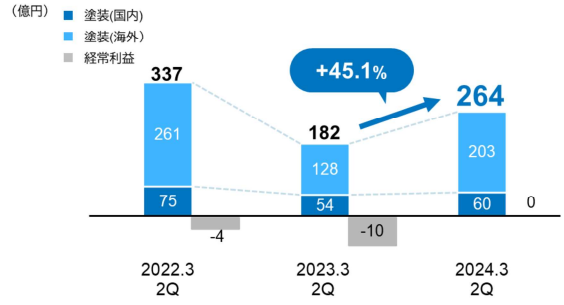
2024年3月期 第2四半期 塗装システム事業 完成工事高・経常利益

大気社

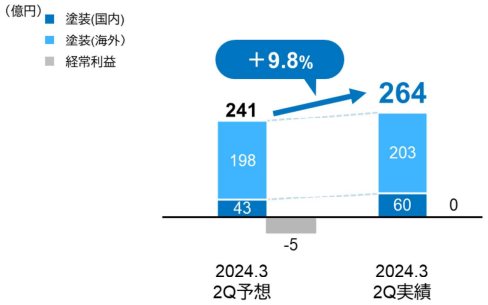
海外がけん引し増収増益を達成
経常損失から経常利益に転換

(億円)	2023年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	前年同期比 増減	2024年3月期 2Q予想	予想比 差異
塗装システム事業　完成工事高	182	264	82	241	23
うち国内	54	60	6	43	17
うち海外	128	203	75	198	5
海外比率	70.2%	77.0%	6.7pt	82.2%	-5.2pt
塗装システム事業　経常利益	-10	0	10	-5	5
経常利益率	-5.7%	0.2%	5.9pt	-2.1%	2.3pt

完成工事高・経常利益 推移



完成工事高・経常利益 予想比



Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

15

当頁は、塗装システム事業の完成工事高と経常利益を前年同期比および予想比でまとめています。

まず、完成工事高は、前年同期比82億円増の264億円となりました。
国内、海外ともに、前期に比べ期初の繰越工事高が多く、増加しました。

次に経常利益は、完成工事高の増加により、前年同期比10億円増となり、黒字に転換しました。
予想比においても、繰越工事の想定以上の進捗による完成工事高増により、予想を上回りました。

2024年3月期業績予想 事業別 受注工事高

大気社

環境システム事業、塗装システム事業ともに減少を見込む

(億円)	2023年3月期 実績 上期	2023年3月期 実績 下期	2023年3月期 実績 通期	2024年3月期 新予想 上期実績	2024年3月期 新予想 下期	2024年3月期 新予想 通期	2024年3月期 期初予想 通期	予想比 差異 通期
受注工事高合計	1,620	1,266	2,886	1,271	983	2,255	2,180	75
うち国内	1,050	476	1,527	702	617	1,320	1,240	80
うち海外	569	789	1,359	569	365	935	940	-5
環境システム事業	1,266	814	2,080	733	796	1,530	1,530	-
ビル空調	195	166	361	177	132	310	230	80
産業空調	1,070	648	1,718	556	663	1,220	1,300	-80
塗装システム事業	354	451	805	537	187	725	650	75

Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

16

ここからは、2024年3月期の業績予想を事業別にご説明します。

当頁は、事業別の受注工事高を前期実績および、11月13日に開示した新予想と期初予想でまとめています。

市場環境の見通しについてご説明いたしますと、環境システム事業では、ビル空調分野の建設需要は、中長期的には底堅く推移する見通しです。産業空調分野では、電気電子分野において、AI・IoT機器・自動運転システム等の需要拡大により、引き続き設備投資が継続すると予想しており、海外においても、同様の傾向が継続すると見込んでおります。
また、塗装システム事業については、自動車メーカーに関しては、北米・日本などでは設備更新投資、中国・インドなどでは増産投資が見込まれており、需要は底堅く推移すると想定しております。

市場環境は堅調に推移しているものの、当社における施工キャパシティを考慮した受注活動の影響により、全社では環境システム事業、塗装システム事業ともに減少し、前期比631億円減の2,255億円となる見通しです。

次頁から、事業ごとに順番にご説明します。

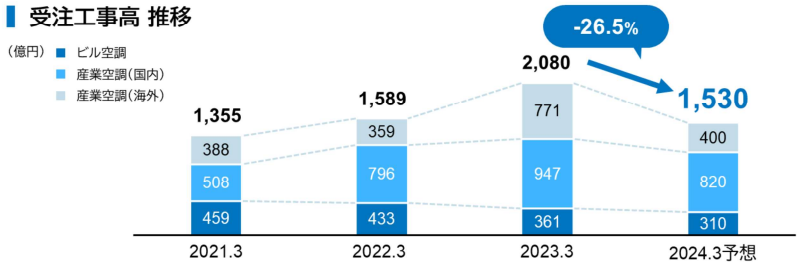
2024年3月期業績予想 環境システム事業 受注工事高

大気社

期初想定通りの受注を見込む

(億円)	2023年3月期 実績 上期	2023年3月期 実績 下期	2023年3月期 実績 通期	2024年3月期 新予想 上期実績	2024年3月期 新予想 下期	2024年3月期 新予想 通期	2024年3月期 期初予想 通期	予想比 差異 通期
環境システム事業 受注工事高	1,266	814	2,080	733	796	1,530	1,530	-
ビル空調	195	166	361	177	132	310	230	80
産業空調	1,070	648	1,718	556	663	1,220	1,300	-80
うち国内	693	254	947	358	461	820	850	-30
うち海外	377	394	771	198	201	400	450	-50
海外比率	29.8%	48.4%	37.1%	27.0%	25.4%	26.1%	29.4%	-3.3pt

受注工事高 推移



Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁は、環境システム事業の受注工事高を前期実績および、新予想と期初予想でまとめています。

産業空調分野では、一部拠点において、プロジェクトの出件時期が後ろ倒しになっている影響などにより、期初予想を下回る見込みです。

一方で、ビル空調分野では、産業空調分野の下振れをカバーすることで、期初予想を上回る見込みです。

分野ごとの増減はあるものの、環境システム事業の受注工事高は、期初予想通りの1,530億円となる見通しです。

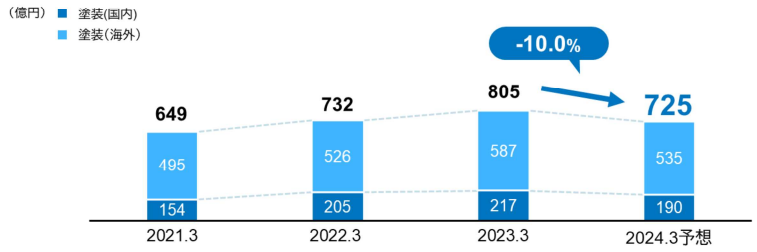
2024年3月期業績予想 塗装システム事業 受注工事高

大気社

想定以上の受注確保により、期初予想を上回る見込み

(億円)	2023年3月期 実績 上期	2023年3月期 実績 下期	2023年3月期 実績 通期	2024年3月期 新予想 上期実績	2024年3月期 新予想 下期	2024年3月期 新予想 通期	2024年3月期 期初予想 通期	予想比 差異 通期
塗装システム事業 受注工事高	354	451	805	537	187	725	650	75
うち国内	161	56	217	166	23	190	160	30
うち海外	192	395	587	371	163	535	490	45
海外比率	54.4%	87.6%	73.0%	69.0%	87.6%	73.8%	75.4%	-1.6pt

受注工事高 推移



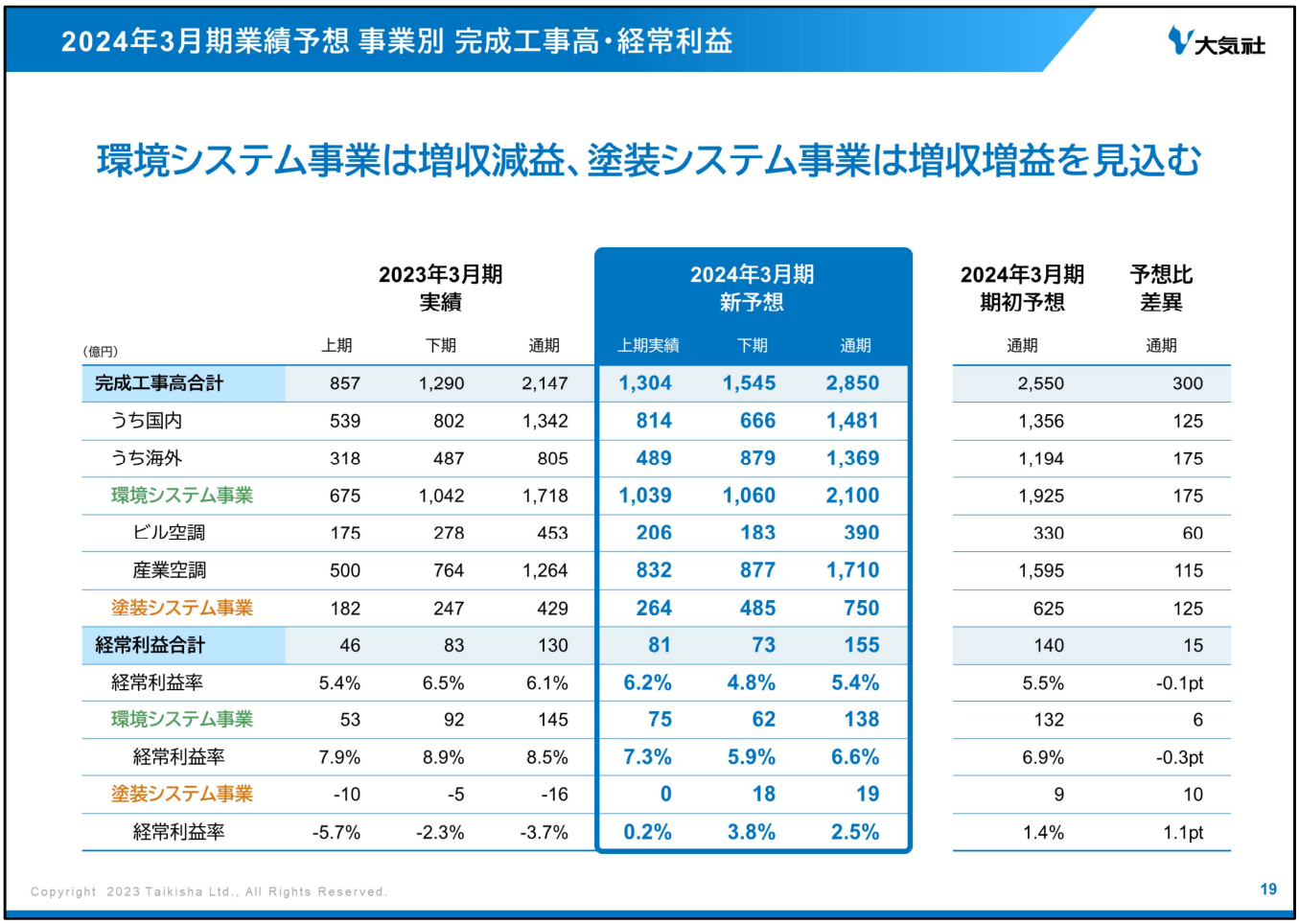
Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

18

当頁は、塗装システム事業の受注工事高を前期実績および、新予想と期初予想でまとめています。

国内、海外ともに上期に想定以上の受注を確保したことで、期初予想を上回る見込みです。

塗装システム事業の受注工事高は、期初予想より75億円上回り、725億円となる見通しです。



(億円)	2023年3月期 実績 上期	2023年3月期 実績 下期	2023年3月期 実績 通期	2024年3月期 新予想 上期実績	2024年3月期 新予想 下期	2024年3月期 新予想 通期	2024年3月期 期初予想 通期	予想比 差異 通期
完成工事高合計	857	1,290	2,147	1,304	1,545	2,850	2,550	300
うち国内	539	802	1,342	814	666	1,481	1,356	125
うち海外	318	487	805	489	879	1,369	1,194	175
環境システム事業	675	1,042	1,718	1,039	1,060	2,100	1,925	175
ビル空調	175	278	453	206	183	390	330	60
産業空調	500	764	1,264	832	877	1,710	1,595	115
塗装システム事業	182	247	429	264	485	750	625	125
経常利益合計	46	83	130	81	73	155	140	15
経常利益率	5.4%	6.5%	6.1%	6.2%	4.8%	5.4%	5.5%	-0.1pt
環境システム事業	53	92	145	75	62	138	132	6
経常利益率	7.9%	8.9%	8.5%	7.3%	5.9%	6.6%	6.9%	-0.3pt
塗装システム事業	-10	-5	-16	0	18	19	9	10
経常利益率	-5.7%	-2.3%	-3.7%	0.2%	3.8%	2.5%	1.4%	1.1pt

当頁は、事業別の完成工事高と経常利益を前期実績および、11月13日に開示した新予想と期初予想でまとめています。

完成工事高は、環境システム事業、塗装システム事業ともに増加し、全社では前期比702億円の増加で2,850億円となる見通しです。

経常利益は、環境システム事業で減少するものの、塗装システム事業で増加し、全社では前期比24億円の増加で155億円となる見通しです。

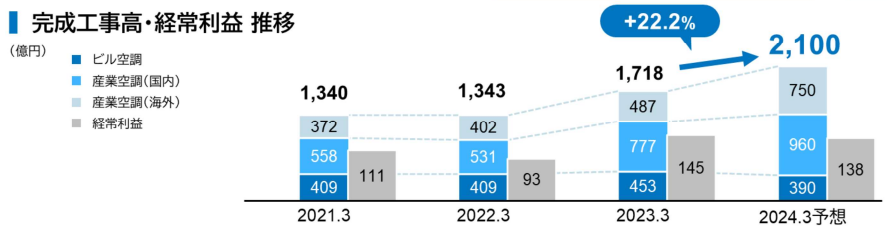
次頁から、事業ごとに順番にご説明します。

2024年3月期業績予想 環境システム事業 完成工事高・経常利益

大気社

想定以上の工事進捗により、完工・利益ともに期初予想を上回る見込み

(億円)	2023年3月期 実績 上期	2023年3月期 実績 下期	2023年3月期 実績 通期	2024年3月期 新予想 上期実績	2024年3月期 新予想 下期	2024年3月期 新予想 通期	2024年3月期 期初予想 通期	予想比 差異 通期
環境システム事業 完成工事高	675	1,042	1,718	1,039	1,060	2,100	1,925	175
ビル空調	175	278	453	206	183	390	330	60
産業空調	500	764	1,264	832	877	1,710	1,595	115
うち国内	309	467	777	546	413	960	895	65
うち海外	190	297	487	286	463	750	700	50
海外比率	28.2%	28.5%	28.4%	27.5%	43.7%	35.7%	36.4%	-0.6pt
環境システム事業 経常利益	53	92	145	75	62	138	132	6
経常利益率	7.9%	8.9%	8.5%	7.3%	5.9%	6.6%	6.9%	-0.3pt



Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

20

当頁は、環境システム事業の完成工事高と経常利益を前期実績および、11月13日に開示した新予想と期初予想でまとめています。

新予想については、完成工事高は、前期からの繰越工事や当期受注案件が想定以上に進捗することで、期初予想を175億円上回り2,100億円となる見通しです。

次に経常利益は、完成工事高の増加に加え、一部工事の採算性改善により、期初予想を6億円上回り138億円となる見通しです。

前期比においては、大型案件の進捗により完成工事高は増加しますが、採算性の低い大型案件の比率が高まり、減益となる見通しです。

なお、それらの採算性の低い物件は、当社のさらなる技術力獲得のために戦略的に受注した案件であります。

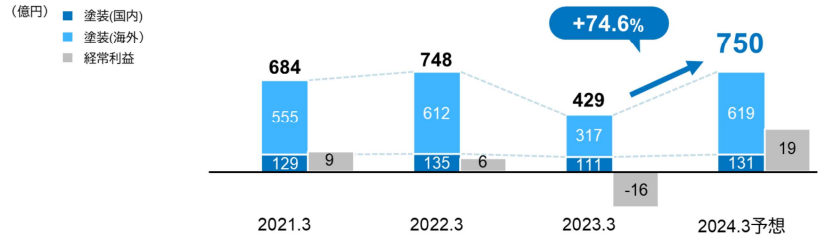
2024年3月期業績予想 塗装システム事業 完成工事高・経常利益

大気社

想定以上の工事進捗により、完工・利益ともに期初予想を上回る見込み

(億円)	2023年3月期 実績 上期	2023年3月期 実績 下期	2023年3月期 実績 通期	2024年3月期 新予想 上期実績	2024年3月期 新予想 下期	2024年3月期 新予想 通期	2024年3月期 期初予想 通期	予想比 差異 通期
塗装システム事業 完成工事高	182	247	429	264	485	750	625	125
うち国内	54	57	111	60	70	131	131	-
うち海外	128	189	317	203	415	619	494	125
海外比率	70.2%	76.8%	74.0%	77.0%	85.6%	82.5%	79.0%	3.5pt
塗装システム事業 経常利益	-10	-5	-16	0	18	19	9	10
経常利益率	-5.7%	-2.3%	-3.7%	0.2%	3.8%	2.5%	1.4%	1.1pt

完成工事高・経常利益 推移



Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

21

当頁は、塗装システム事業の完成工事高と経常利益を前期実績および、11月13日に開示した新予想と期初予想でまとめています。

新予想については、完成工事高は、海外において前期からの繰越工事の進捗が期初の想定を上回ったことにより、期初予想を125億円上回る750億円となる見通しです。

次に経常利益は、完成工事高の増加により、期初予想を10億円上回る19億円となる見通しです。

前期比については、前期において、国内、海外ともに客先の生産計画変更に伴う出来高の後ろ倒しなどがありましたが、今期はその傾向が解消されることで完成工事高が増加し、それに伴い経常損失から経常利益に転換する見通しです。

目 次
INDEX

1. 連結業績の概要		P.03
2. セグメント別業績の概要		P.08
3. 連結財務諸表	管理本部長:中島　靖	P.22
4. 中期経営計画の進捗 （2022年度～2024年度）		P.26
5. 株主還元		P.38
6. Appendix		P.41

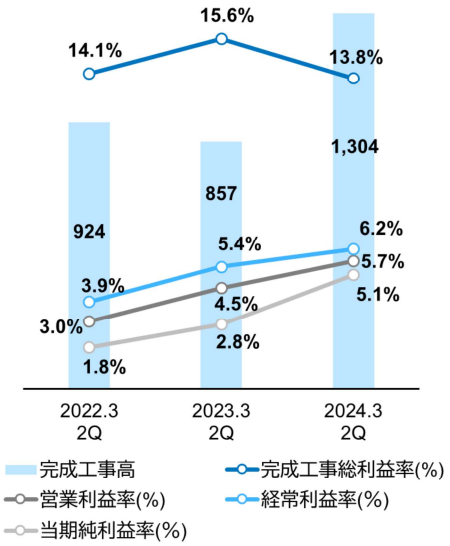
Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁からは、連結財務諸表を順番にお示しします。

損益計算書

大気社

(億円)	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q
完成工事高	924	857	1,304
完成工事総利益	130	134	180
完成工事総利益率	14.1%	15.6%	13.8%
営業利益	27	38	74
営業利益率	3.0%	4.5%	5.7%
経常利益	35	46	81
経常利益率	3.9%	5.4%	6.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	16	24	66
当期純利益率	1.8%	2.8%	5.1%



Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁は、3ヶ年の業績の推移を表しています。ご参照ください。

貸借対照表

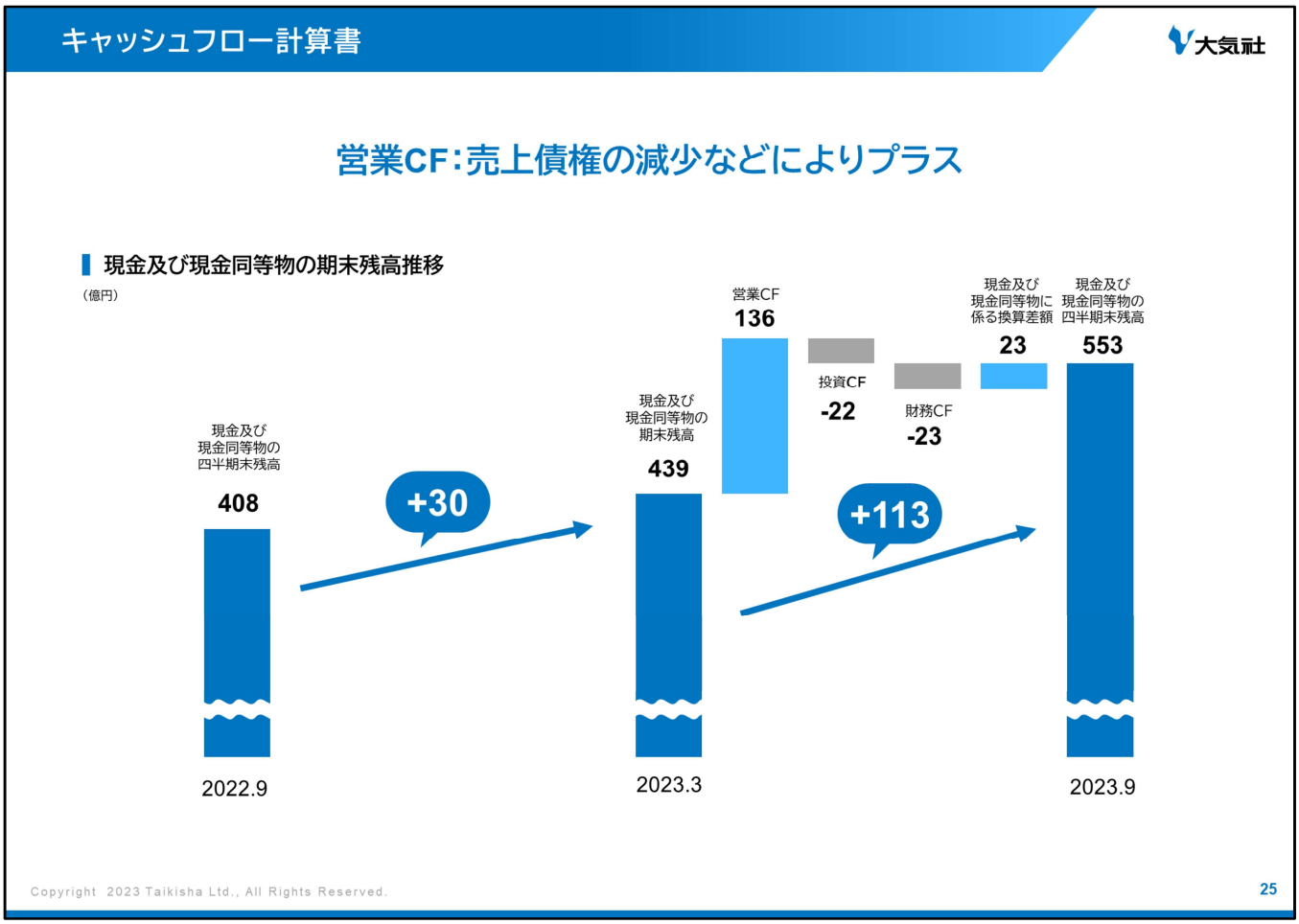
大気社

(億円) 科目	2023年3月期	2024年3月期2Q	増減
流動資産	1,844	2,001	156
現金預金	469	540	70
受取手形・完成工事未収入金等	1,242	1,140	-101
有価証券	0	80	80
未成工事支出金及び材料貯蔵品	31	28	-3
その他	107	218	110
貸倒引当金	-6	-6	0
固定資産	526	558	32
有形固定資産	85	95	9
のれん	36	37	1
その他無形固形資産	22	23	0
投資有価証券	264	281	16
繰延税金資産	5	5	-0
その他	115	117	2
貸倒引当金	-5	-2	2
資産合計	2,371	2,560	189

科目	2023年3月期	2024年3月期2Q	増減
流動負債	959	1,039	80
支払手形・工事未払金等	554	604	49
未成工事受入金	233	219	-13
工事損失引当金	3	2	-0
その他	168	213	44
固定負債	91	110	19
負債合計	1,051	1,150	99
純資産	1,319	1,409	89
資本金	64	64	-
資本剰余金	35	36	0
利益剰余金	1,002	1,045	42
自己株式	-11	-16	-4
その他有価証券評価差額金	105	122	16
繰延ヘッジ損益	-0	-1	-0
為替換算調整勘定	47	78	30
退職給付に係る調整累計額	14	13	-0
非支配株主持分	62	66	4
負債純資産合計	2,371	2,560	189

Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

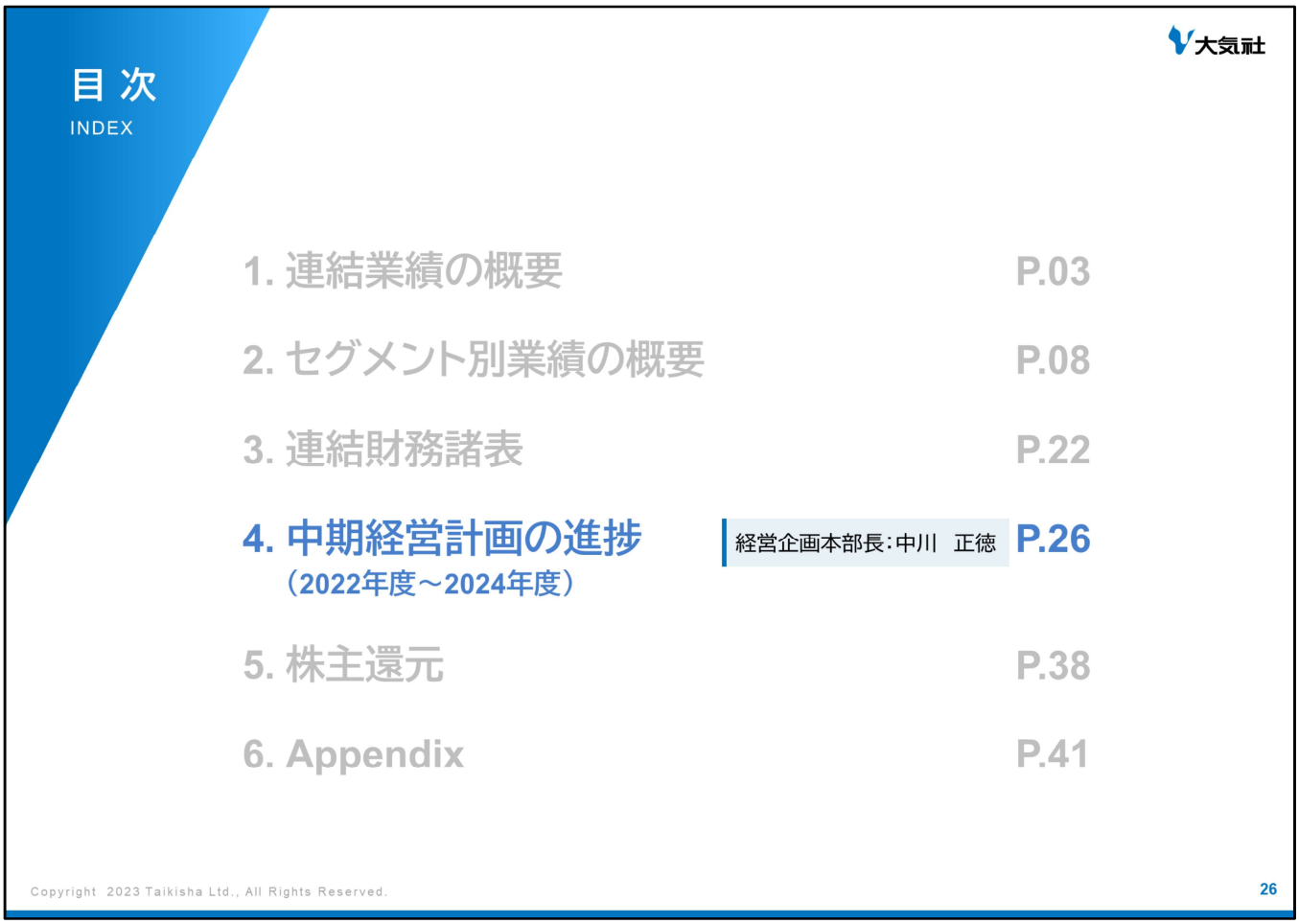
当頁は、連結の貸借対照表です。ご参照ください。



当頁は、連結のキャッシュフロー計算書です。

2024年3月期第2四半期の現金及び現金同等物の四半期末残高は、2023年3月期末より113億円増加し、553億円となりました。

営業キャッシュフローは、売上債権の減少などにより、136億円のプラスとなりました。



経営企画本部長の中川です。

ここからは、中期経営計画の進捗をご説明します。



当頁は、本中計の策定にあたり見直した長期ビジョンを記載しております。

Innovative Engineering と Diversity & Inclusionという二つのビジョンを掲げております。

中期経営計画 財務目標

大気社

2024年3月期の中期経営計画の目標を上回る予定

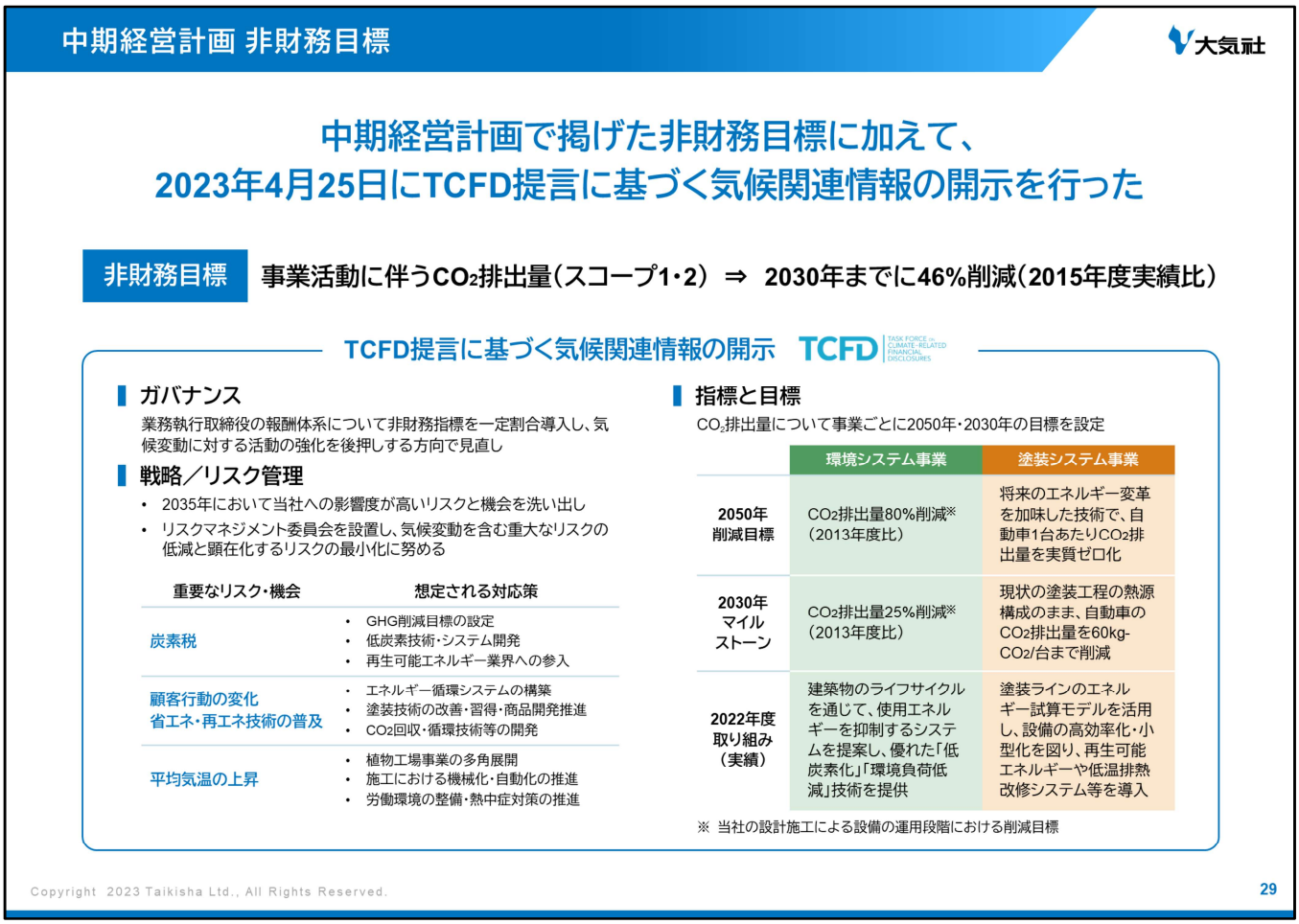
(億円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	2024年3月期 目標	2025年3月期 目標	2027年3月期 目標
		中期経営計画期間			5年後の目指す姿
受注工事高	2,886	2,255	2,230	2,360	2,700
完成工事高	2,147	2,850	2,235	2,380	2,650
経常利益	130	155	135	150	165
親会社株主に帰属する当期純利益	79	105	91	96	
ROE	6.3%	8.2%	7.0%	7.2%	
DOE	3.2%	3.2%を目指し、安定的な配当を実施			
自己株式取得	30	年間20億円を目途に実施			
政策保有株式の保有額対純資産比	21.8%	2024年3月期までに、20%未満に削減			

※「目標」は2022年5月16日開示の中期経営計画の数値目標

Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁は、本中計の財務目標について記載しております。

2024年3月期の業績予想に関しましては、全ての項目で中計で掲げていた目標を上回る予定です。



当頁は、本中計の非財務目標について記載しております。

中計で掲げた、スコープ1，2のCO2排出量の削減目標に加えて、今年の4月25日にTCFD提言に基づく気候関連情報の開示を行いました。

詳細は当社ホームページをご覧ください。



当頁は、本中計の投資計画について記載しております。

現在、環境システム事業において、神奈川県愛川町に、新技術開発センターを計画中でありまして、来年5月に完成予定です。今年4月に開設した本社のR&Dサテライトとの連携による技術体験を通じた顧客とのコミュニケーションの拡大と、顧客視点の技術開発を推進してまいります。

また、塗装システム事業においては、スプレー塗装に代わるドライ加飾技術の開発を急ピッチで進めておりまして、神奈川県座間市にありますテクニカルセンターに実証ラインを設置予定です。

今後の投資計画に関しましては、ご説明可能となったものから順次、取り組みをお伝えしていければと思っております。

基本方針と方向性

大気社

基本方針	方向性		取組み
1 コア事業のさらなる強化 当社の強みである追求型の課題解決により継続的に付加価値を創出する	環境システム事業	付加価値を生み出し続ける事業展開	• カーボンニュートラルの実現に向けた脱炭素ビジネスへの取組み • 顧客・プロジェクトの技術ニーズに応え続ける体制とプロフェッショナルの育成
		技術の大気社を強化	• 新技術開発センター・R&Dサテライトの活用による顧客ニーズの把握・共同開発 • 営業部門と開発部門の協働による顧客への積極的な技術提案とシーズの掘り起こし
		業務の仕組みの改善と生産性向上	• 働きやすさ向上のため業務のデジタル化・DX化 • ムリ・ムダ・ムラをなくす業務プロセス変革 • サプライヤーとの関係強化と共に成長できる仕組みづくり
	塗装システム事業	国内外での確固たる地位の確立	• 非日系顧客のニーズに応える技術の多様化 • パートナー企業との協働による、非四輪新規顧客へのアプローチ • 海外ネットワークを活用した、現地に根差した事業展開
		グローバルな社会課題を意識した開発	• カーボンニュートラル実現のため、技術開発により顧客の生産技術の変革に貢献 • 海外拠点と連動した開発体制の構築
		業務の仕組みの改善と生産性向上	• 業務プロセスのデジタル化による現場業務の遠隔化、自動化 • グローバルな教育プログラム設計 • プロジェクト管理体制の見直しによる人員最適化
2 新たな価値創出への挑戦 自社の技術と外部知見との融合によりイノベーションを生み出し、事業領域を拡大する	知的財産戦略の立案・推進		• 自社の知財・無形固定資産を活用した経営戦略を推進
	顧客視点の開発		• アクセスの良いR&Dサテライトを設置し、積極的な顧客ニーズの把握を推進
	オープンイノベーション		• 新技術開発センターをオープンし、学術機関・スタートアップ企業との融合による革新的技術開発を推進
	強みとなる技術の水平展開		**グリーン機器事業** • 空調設備業と製造業の融合でニッチな分野の事業創造 **オートメーション事業** • ロボット制御技術に注力し、自動サンディング装置などの非四輪市場を開拓 **植物工場事業** • プラント建設と工場野菜の生産販売の積極的市場開拓により、ブランド確立へ
	新規事業の開拓		• 知財の活用、R&Dを通じた外部知見との融合から、新規事業を追求
3 変革・成長を支える経営基盤の強化 事業構造の転換に向け、人的資本・デジタル戦略・ガバナンスに重点を置いて取り組む	人的資本の育成・確保		• イノベーションを生み出す組織風土づくり • 社員エンゲージメントの向上 • 計画的な人材価値の開発
	新たな価値提供に向けたデジタル戦略		• 現場のデジタル化・DX化による生産性向上 • グローバルなIT・DX体制構築 • 研究開発・新事業創出に向けたデジタル融合
	グループガバナンス体制強化		• 資本コストを踏まえた事業ポートフォリオマネジメント • 関係会社の取締役会・監査機能の実効性強化

Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁は、本中計の『基本方針と方向性・取組み内容』ついて記載しております。

大気社

新時代のパーソナル空調へ 人追従吹出口「FOLLOAS」を開発
～作業環境の改善や省エネを実現～

当社は、画像認識技術を活用し、人の動きに追従して冷風を吹く吹出口システム「FOLLOAS」を開発しました。作業者の快適性の向上や、全体の給気量の低減による省エネ・CO_2削減効果も期待できます。

【開発の背景】
工場では、従来固定式吹出口による個別空調が採用されていましたが、固定式では作業者の移動範囲をすべてカバーすることはできず、夏期の工場業務が厳しいものとなる場合もありました。
当社では近年、ICTを活用した技術開発を進めており、特に画像認識技術の既存技術への応用に注力しています。
こうした中、当社が長年培ってきた空調制御技術と画像認識技術を組み合わせることで、よりパーソナルな空調の実現に向けて、対象者に追従して給気方向が変わる本製品を開発しました。

【今後の事業展開】
現在、作業環境の改善や暑熱対策、さらには工場全体の省エネを検討されているお客さまに対し、すでに導入提案を進めています。また、複数の工場において試験的導入や耐久性検証を行っており、それらを踏まえて量産化に着手する予定です。2025年までには年間販売台数3,000台を目指し、量産化に向けた体制の構築を進めてまいります。



製品イメージ

Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

それでは、中計の各戦略に基づく取り組みのうち、環境システム事業、塗装システム事業の2024年3月期上期の取り組みを2つ紹介いたします。

1つ目は、中期経営計画で掲げる『強みとなる技術の水平展開』における取り組みとしまして、人追従吹出口「FOLLOAS」（読み：フォロアス）の開発についてです。
画像認識の技術を活用して、人の動きに追従して冷風を吹く吹出口システムでありまして、作業環境の改善や省エネ・CO2削減効果が期待できます。
現在、お客さまへの導入提案を進めており、また、複数の工場において試験的な導入や耐久性の検証を行っています。2025年までには年間販売台数3,000台を目指し、量産化に向けた体制の構築を進めてまいります。

実績および進行中の取り組み①

大気社

基本方針	方向性		実績および進行中の主な取り組み	社会価値の創出 E 気候変動の緩和と適応	E 汚染防止と環境負荷低減への取組み	S 人材確保と人材育成	S 働きやすい職場環境の整備	G 実効性の高いコーポレート・ガバナンス
コア事業のさらなる強化	環境システム事業	付加価値を生み出し続ける事業展開	• 半導体関連やEV電池関連などのハイエンドの設備が必要な顧客への対応や、次世代スペシャル人材の育成を推進中。	○	○			
		技術の大気社を強化	• 設計部門の強化とグローバル人材の育成を推進中。 • EMS推進のための体制構築中。		○	○		
		業務の仕組みの改善と生産性向上	• BIMを始めとする現場DX運用検証、業務マネジメントシステムの再整備実施中。 • 当社と協力業者との間にある課題共有、対策検討中。			○	○	
	塗装システム事業	国内外での確固たる地位の確立	• 地域別事業戦略に基づいた日系・非日系顧客への営業活動および、非四輪新規顧客へのアプローチを実施中。 • 国際カンファレンスへの積極的な参加などを通じ、グローバルブランディング戦略を展開。		○			
		グローバルな社会課題を意識した開発	• カーボンニュートラル関連の技術開発実施中。カーボンニュートラルに関連した顧客への技術者派遣や技術交流など顧客との協業も同時に推進中。 • 国内外開発拠点・ラボ・ショールームのグローバル展開および連携強化継続中。開発精度の向上を図るため、ラボテストの状況を拠点間で共有するリアルタイムコミュニケーションシステムの導入を検討中。	○	○			
		業務の仕組みの改善と生産性向上	• BIMクラウドサービスを活用した3D作図・設計業務のグローバル連携で「24h眠らない設計体制」を構築中。 • 施工現場のビジュアル遠隔管理システム運用、eラーニングによる各国ナショナルスタッフの教育・スキルアップを推進中。 • 膨大な過去のビッグデータから、AIによる情報自動抽出により、進行中プロジェクトにタイムリーアドバイスシステムを構築中。			○	○	

Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁からは、各戦略における2024年3月期上期の実績や進行中の主な取り組みについて記載しております。ご参照ください。

実績および進行中の取り組み②

大気社

基本方針	方向性		実績および進行中の主な取り組み	社会価値の創出 E 気候変動の緩和と適応	E 汚染防止と環境負荷低減への取組み	S 人材確保と人材育成	S 働きやすい職場環境の整備	G 実効性の高いコーポレート・ガバナンス
新たな価値創出への挑戦	知的財産戦略の立案・推進		• 自社の知財・無形固定資産の有用性検証中。 • 環境システム事業、塗装システム事業と連携して、知的財産戦略を立案・推進中。 • 知財に関する社内教育の継続、および発明に関する規程の改定実施。			—		
	顧客観点の開発		• 2023年4月に、アクセスの良いR&Dサテライト「TAIKISHA INNOVATION GATE Shinjuku」を本社に開設し、顧客への照会開始。潜在的顧客ニーズの把握と、新たな価値を創造する製品開発を検討中。	○	○			
	オープンイノベーション		• 新技術開発センター計画中（2024年5月完成予定）。 R&Dサテライトとの連携による技術体験を通じた顧客とのコミュニケーションの拡大と、顧客視点の技術開発推進を目指す。	○	○			
	強みとなる技術の水平展開	グリーン機器事業	• 精密温調チャンバー※1の受注活動推進中。 ※1 半導体製造において装置まわりや、超精密加工や測定、検査を可能にする環境空間を構築する設備 • 排気処理装置のラインナップ拡充を実施中。 • 人の動きに追従して冷風を吹く吹出口システム「FOLLOAS」の量産化に向けた体制の構築実施中。	○	○			
		オートメーション事業	• オートメーション領域の拡大に向けた取り組みを実施中。 • 新規顧客獲得のための活動として、展示会を活用した活動を継続実施中。 • 高塗着効率技術の市場投入に向け、各種検証実施中。 • ドライ加飾技術の開発実施中、国内R&D施設に実証ラインを設置予定。開発課題を海外R&D拠点と共有することで、開発速度を加速中。	○	○			
		植物工場事業	• 自社工場にて実証実験継続中。市場開拓の戦略については継続検討中。	○	○			
	新規事業の開拓		• 大学、研究機関、民間企業と、市場調査に基づき、社会実装時のビジネスモデルを想定した新規事業に資する共同研究を実施中。	○	○			

Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

実績および進行中の取り組み③

大気社

基本方針	方向性	実績および進行中の主な取り組み	社会価値の創出 E 気候変動の緩和と適応	E 汚染防止と環境負荷低減への取組み	S 人材確保と人材育成	S 働きやすい職場環境の整備	G 実効性の高いコーポレート・ガバナンス
変革・成長を支える経営基盤の強化	人材資本の育成確保	• 当社事業の推進に合致する意欲・能力の高い人材の獲得（新卒採用75名、キャリア採用27名）。 • 上位職者層を長期に渡り計画的に育成するための制度、プロフェッショナル人材の顕彰制度の整備と運用開始。 • キャリアプラン制度のブラッシュアップ、人材データベース活用による効果的な適所適材の配置と業務付与を一部開始。 • 社内風土向上の一環として上司だけではなく、同僚や部下からの評価なども含めた360度フィードバック制度を一部開始。拡大検討中。 • 「健康経営優良法人（ホワイト500）」認定取得（総合順位301～350位）。 • 長時間労働対策として主に現場業務に従事する社員の実態把握と、課題および職場環境改善対策案を検討中。			○	○	
	新たな価値提供に向けたデジタル戦略	• 設計・積算・施工管理などのプロジェクトにおける各工程の生産性向上のためのデジタル化・DX化を推進中。設備BIMの標準化と普及・推進に向けた「設備BIM研究連絡会」に参加し活動開始。 • グローバルなIT・DX体制構築検討中。そのうち、セキュリティに関わるIT管理体制の構築開始。 • デジタル人材の育成強化策を検討中。			○	○	
	グループガバナンス体制強化	• 事業ごとの資本収益性を図る経営指標の導入を検討中。 • 事業ポートフォリオマネジメントを意識した管理を組織的に実施するための「事業投資ガイドライン」の運用を開始し、拠点モニタリングを実施。 • 関係会社取締役会の役割・責任範囲を明確にし、実効性向上のための諸施策を実施。同取締役会の機能強化を行うとともに、本社によるモニタリング体制強化を実施中。					○

Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

政策保有株式

大気社

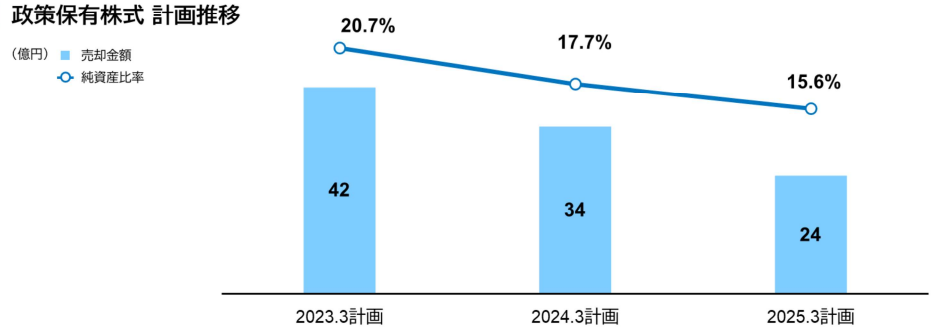
中期経営計画期間において100億円の政策保有株式売却、2年目までに、政策保有株式(みなし保有株式を含む保有額)の保有額を対純資産比20%未満に削減

中期経営計画期間の計画値

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	合計
売却金額	42億円	34億円[注1]	24億円	100億円
純資産比率	20.7%	17.7%[注2]	15.6%	

注1…うち25億円は、2023年4月1日～9月30日の間に売却済み
注2…2023年9月末時点の純資産比率は、21.7%

政策保有株式 計画推移



Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁は、本中計の政策保有株式の削減計画について記載しております。

2024年3月期上期における売却金額の実績は25億円となりました。売却は計画通り進んでおりますが、株価の上昇の影響もあり、2023年9月末時点の純資産比率は、21.7%となっております。

引き続き、計画達成に向けて削減を進めてまいります。

目 次
INDEX

大気社

1. 連結業績の概要 P.03

2. セグメント別業績の概要 P.08

3. 連結財務諸表 P.22

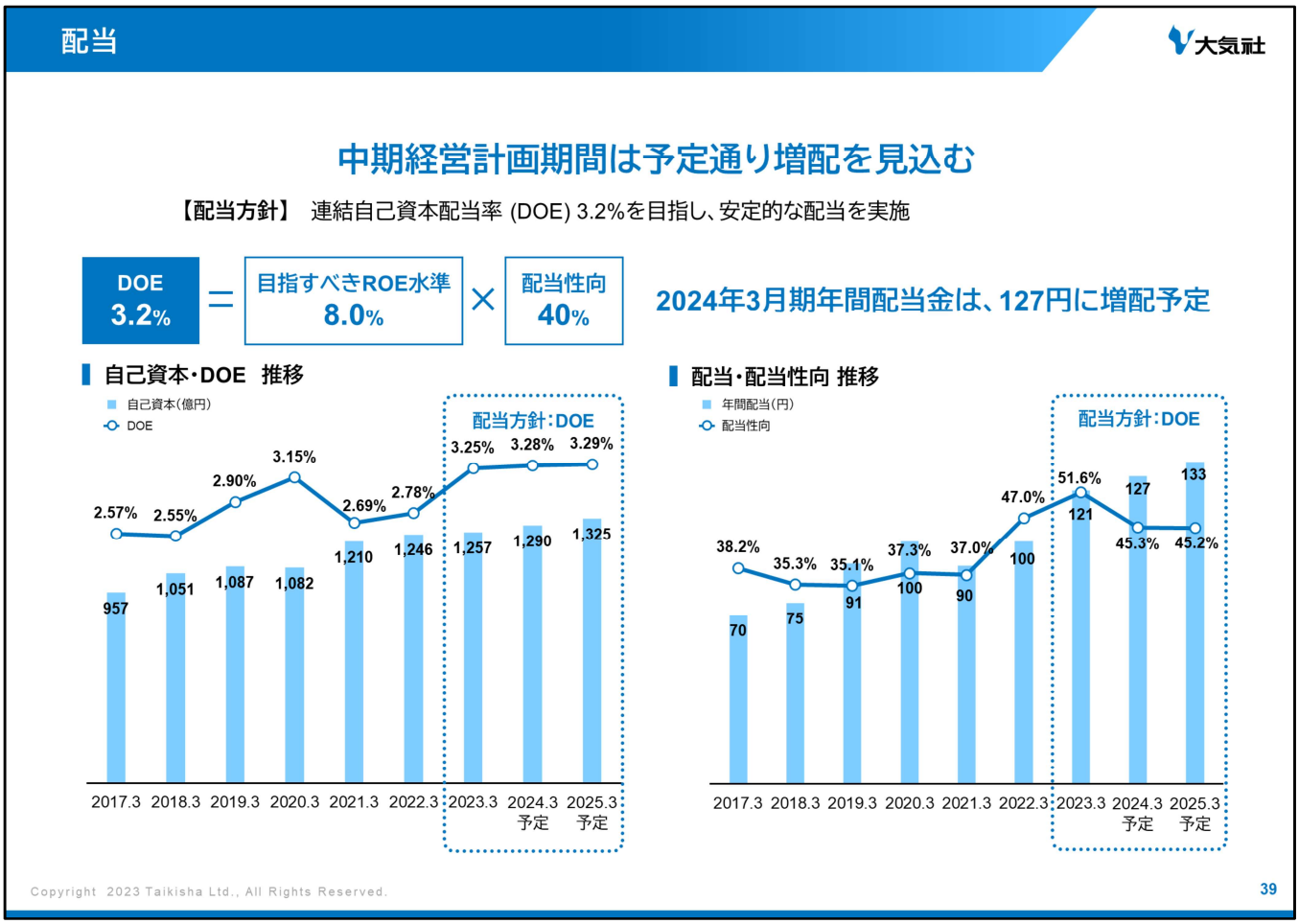
4. 中期経営計画の進捗
（2022年度～2024年度） P.26

5. 株主還元 経営企画本部長：中川　正徳 P.38

6. Appendix P.41

Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

次に、当社の株主還元についてご説明します。

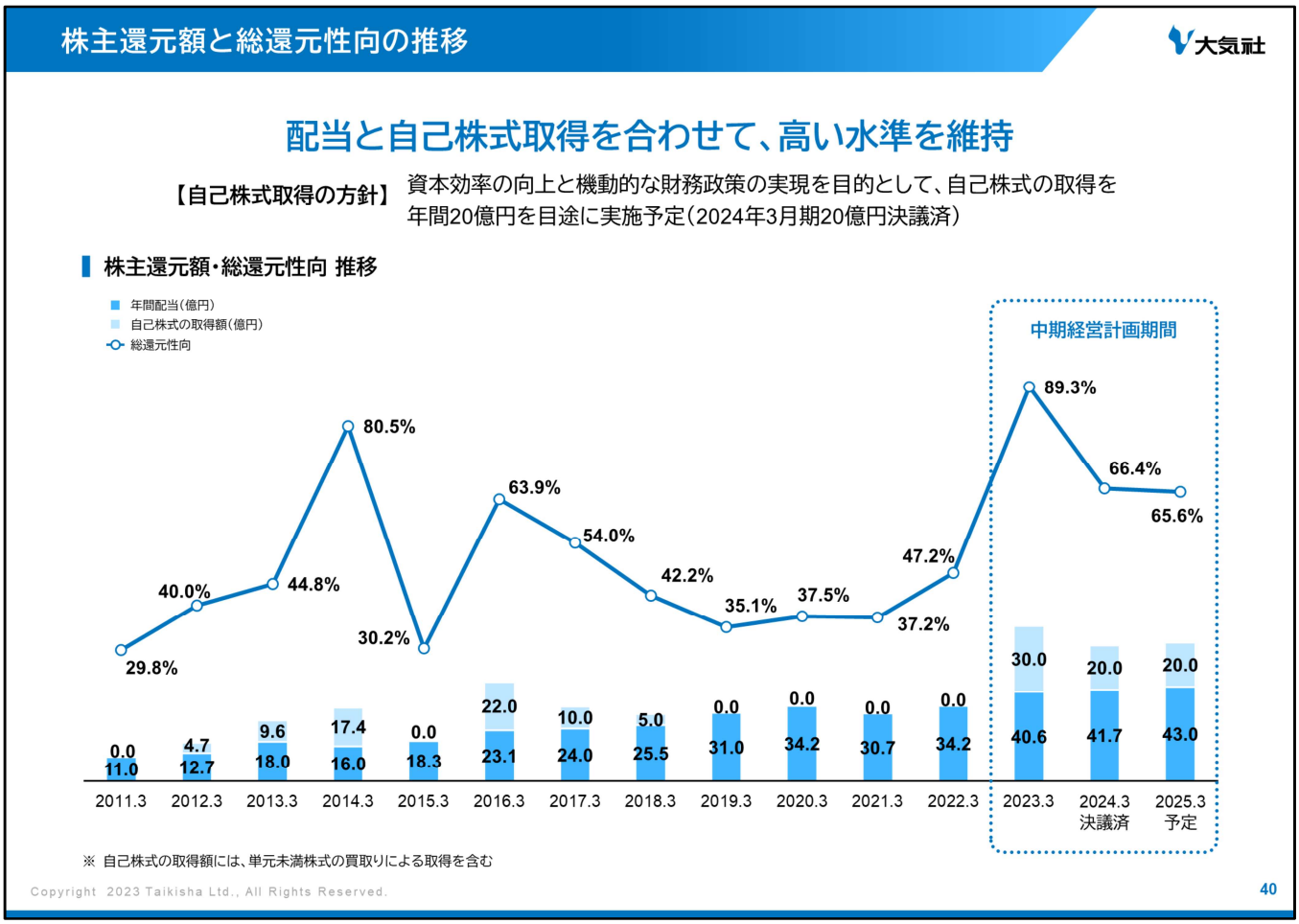


当頁では、配当についてご説明します。

過去の配当方針につきましては、配当性向による目標を掲げておりましたが、2023年3月期から始まった中計においてDOE基準に配当方針を変更しました。

利益配当金による利益還元を最重要施策のひとつとして、自己資本配当率（DOE）3.2%を目指し、安定的な配当を実施してまいります。

2024年3月期の年間配当は、期初公表の配当予定金額から変更はなく、1株につき127円で実施する予定です。



当頁では、自己株式の取得についてご説明します。

薄いブルーの棒グラフが自己株式の取得額の推移を示しております。
中計1年目の2023年3月期は、30億円の自己株式取得を実施しましたが、2年目以降は、年間20億円を目途に自己株式の取得を実施する予定としておりまして、今期はすでに8月10日の取締役会で20億円の自己株取得の決議をしました。
配当と自己株式の取得を合わせて、より高い水準の株主還元を目指してまいります。
ご参考として株主還元額と総還元性向の推移も載せておりますので、ご参照ください。

本日のご説明は以上となります。ご清聴いただき、ありがとうございました。

目 次
INDEX

1. 連結業績の概要 P.03

2. セグメント別業績の概要 P.08

3. 連結財務諸表 P.22

4. 中期経営計画の進捗
（2022年度～2024年度） P.26

5. 株主還元 P.38

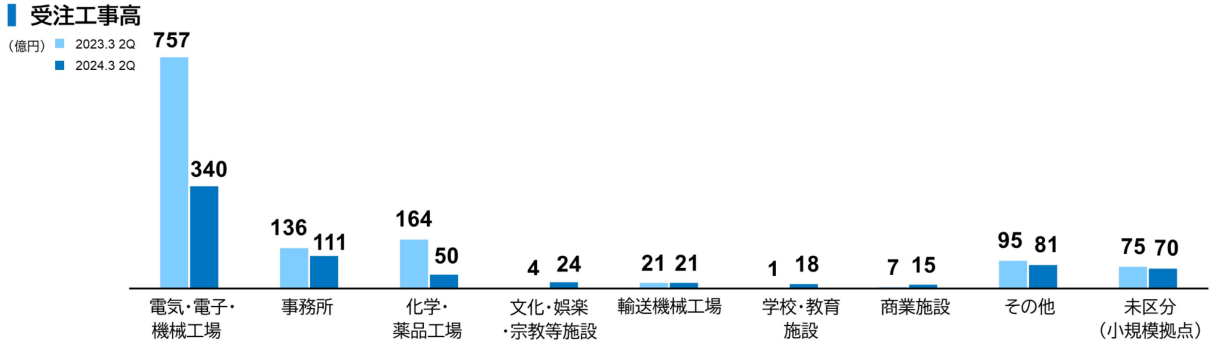
6. Appendix P.41

Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

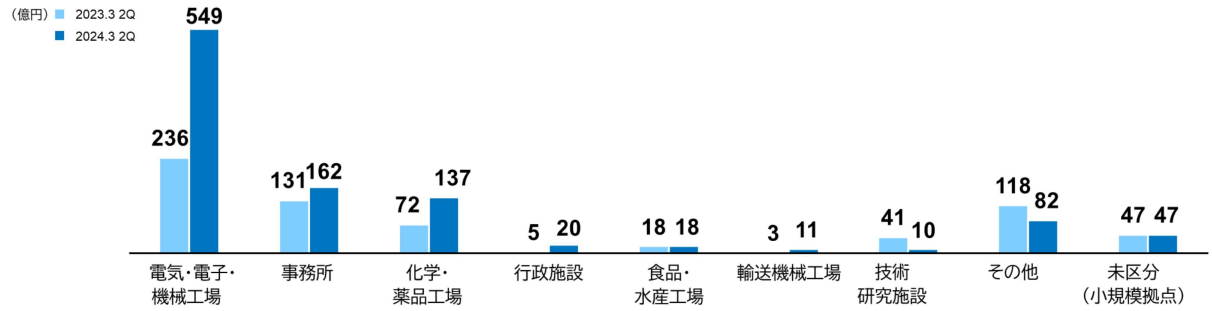
環境システム事業　市場種別受注・完成工事高状況

大気社

受注工事高



完成工事高



Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

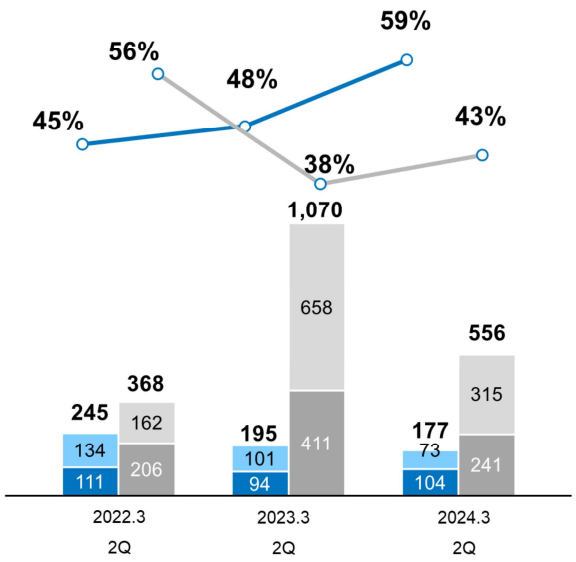
環境システム事業　受注・完成工事高リニューアル推移

大気社

受注工事高

（億円）

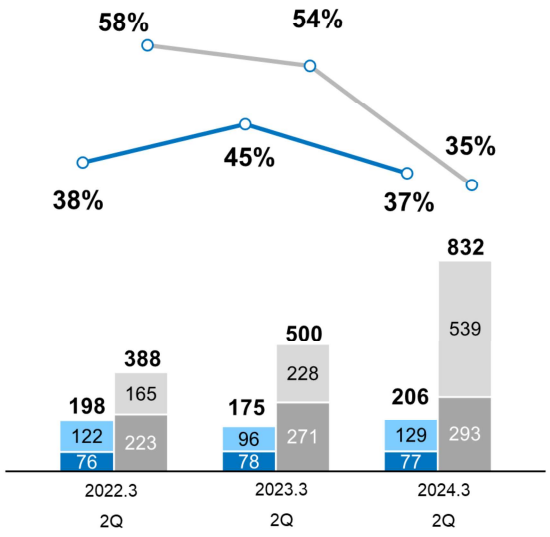
- ビル空調(リニューアル)
- ビル空調(新築)
- ビル空調リニューアル比率
- 産業空調(リニューアル)
- 産業空調(新築)
- 産業空調リニューアル比率



完成工事高

（億円）

- ビル空調(リニューアル)
- ビル空調(新築)
- ビル空調リニューアル比率
- 産業空調(リニューアル)
- 産業空調(新築)
- 産業空調リニューアル比率

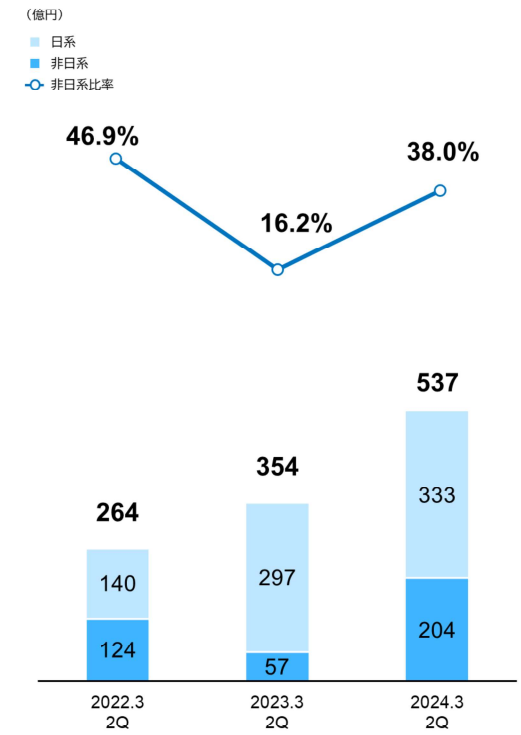


Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

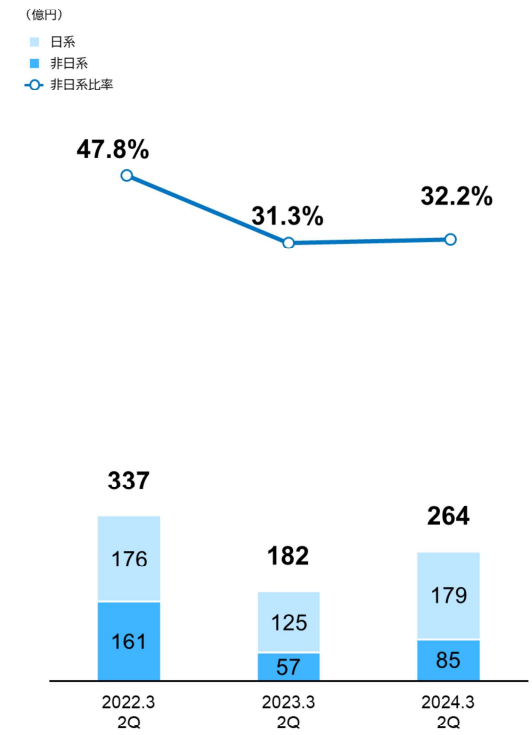
塗装システム事業　非日系メーカー受注・完成工事高比率

大気社

受注工事高



完成工事高



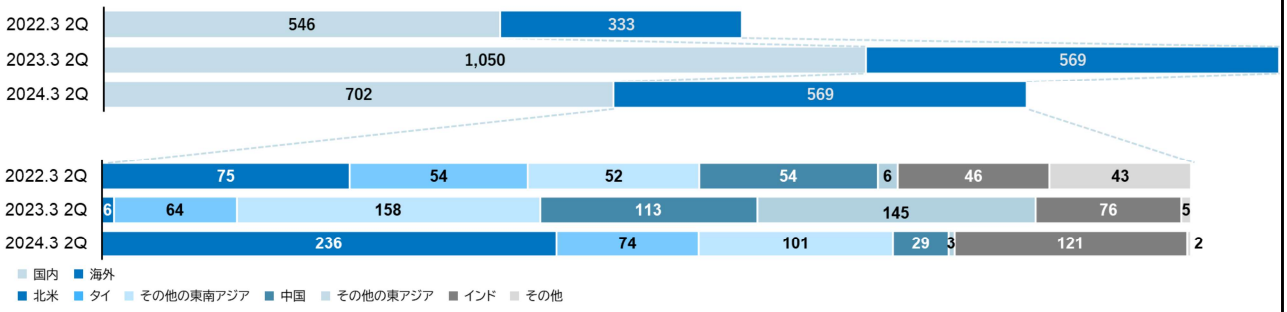
※ 日系メーカーの集計値には、海外日系合弁会社(日系メーカー出資会社の全てを含む)の受注・完工を含む

Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

海外受注・完成工事高の推移（施工地別）

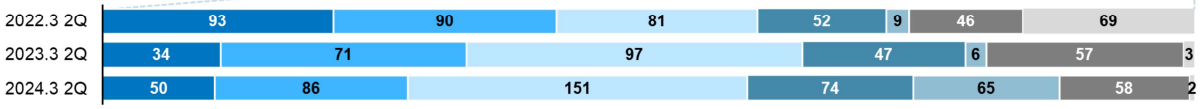
大気社

受注工事高



完成工事高







※当セグメントデータは、外部顧客への受注・完成工事高のみの数値
※主な国または地域 ・東南アジア：シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、他 ・東アジア：台湾、韓国 ・北米：アメリカ、カナダ、メキシコ ・その他地域：ロシア、南米、他

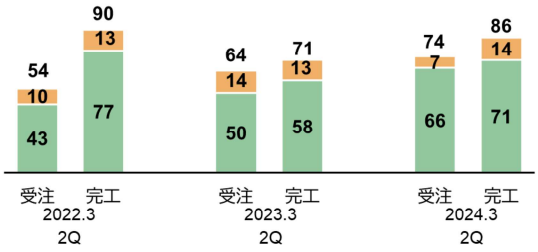
Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

海外主要4社の受注・完成工事高の推移

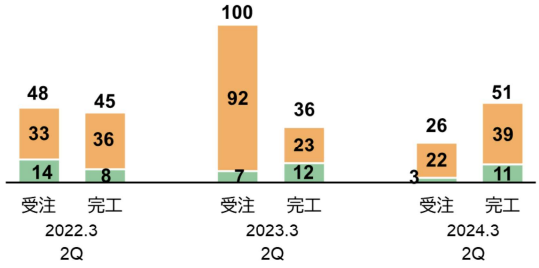
大気社

（億円） ■ 産業空調 ■ 塗装システム

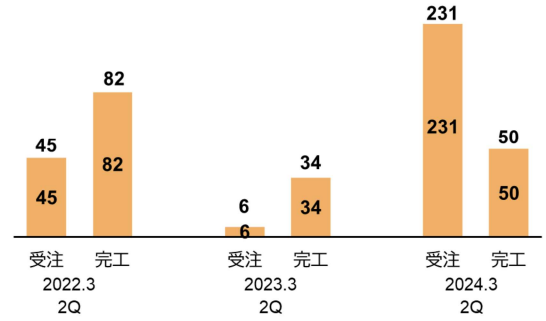
Taikisha (Thailand) Co., Ltd. (タイ)グループ



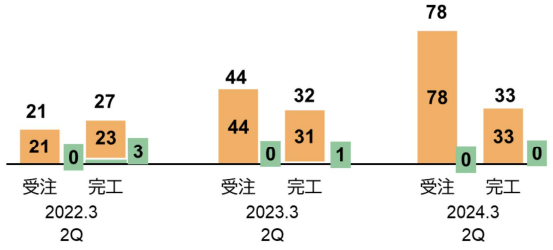
Wu-Zhou Taikisha Engineering Co., Ltd. (中国)



TKS Industrial Company(米国)グループ



Taikisha Engineering India Private Ltd. (インド)



※ 大気社とグループ会社間の内部取引額を除いた金額

Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問合せ先
株式会社大気社　経営企画本部　経営企画部　IR課
TEL：03-5338-5052　FAX：03-5338-5195

Copyright 2023 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.